

認知症新薬の発売迫る

紅葉の便りに秋の深まりを感じる頃となりましてが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？

最近、日本国内でアルツハイマー型認知症の新しい治療薬が認可され話題となっていることをご存知でしょうか？

アルツハイマー型認知症は、実に認知症の約6

割以上を占めるといわれており、脳内に蓄積するアミロイドβ（ベータ）という物質が関与すると考えられています。

日本の製薬会社のエーザイ(株)から発売される予定の新しい治療薬「レカネマブ」は、そのアミロイドβになる前の段階の物質に結合し、集まるのを抑えて効果を発揮するといわれています。

この薬を使用した患者さんは18カ月後の認知機能の低下がおおよそ27%抑えられたとのデータが出ました。

これは今までの認知症治療にはない治療薬で

す。ただし誰にでも使えるわけではなく、その病状が軽度認知障害または軽度認知症となっており、超早期でなければなりません。

使用に当たっては、脳



もう一つの大きな問題はこれに関わる費用です。この薬は先行発売されたアメリカでは年間約390万円となり、日本で保険適応されてもその治療費はかなり高額になりそうです。

この「夢の新薬」となり得るかもしれない薬は年内の発売が予定されています。これからの認知症の治療が大きく変わるかもしれません。

寒い冬の訪れの時期ですが、認知症の方とご家族の希望の光となりますように。

(薬剤師 西 美香)

薬話
よもやま

[95]

松阪地区薬剤師会

内にアミロイドβがたまっていくか否かの画像診断をし、認知症の専門医が判断を下します。いくつかの副作用についても問題視されており、慎重な対応が求められています。